

容量制約のないネットワーク設計問題の Lagrange緩和法とソースコード

片 山 直 登

1 はじめに

ネットワークデザイン問題は、適切なネットワークの形状と多品種のフローを求める問題であり、通信ネットワーク設計、交通ネットワーク設計や輸送・配送ネットワーク設計などに様々な応用分野が存在する基本的な問題である。

ネットワークを設計する際に考慮すべき基本的な費用は、アークを選択するときに発生する費用であるデザイン費用とモノがアーク上を移動するときに発生するフロー費用である。本研究では、アーク容量の制限を考慮しない条件のもとで、これら二種類の費用の合計を最小にするような多品種のネットワーク設計問題を対象とする。アーク容量の制限を考慮しないため、この問題は容量制約のないネットワーク設計問題 (Uncapacitated Network Design Problem: *UND*) とよばれる。*UND*に対しては数多くの研究が行われており、研究のサーベイとしてはMagnanti-Wong (1984) [6], Wong (1984) [8], Balakrishnan-Magnanti-Mirchandani (1997) [1], 片山直登 (2002) [2] および片山直登 (2008) [3] などがある。

本研究では、*UND*の定式化、Lagrange緩和法およびLagrangeヒューリスティックを示し、これらの解法のためのC言語によるソースコードを示す。

2 問題の定式化

*UND*は、ノード集合、デザイン費用とフロー費用をもつ向きをもたないアーク集合、品種の需要をもつ品種集合が与えられているとき、フロー費用とデザイン費用の合計を最小にするアーク集合とフローを求める問題である。

はじめに、前提条件を示す。

- ・ ノード集合が与えられている.
- ・ アーク集合が与えられている.
- ・ アークは向きをもたない.
- ・ アークの処理量には, 容量である上限を考慮しない.
- ・ アークには, 非負のデザイン費用が与えられている.
- ・ アークには, 単位当たりの非負のフロー費用が与えられている.
- ・ 複数の品種からなる品種集合が与えられている.
- ・ 各品種の需要は1である.
- ・ 各品種の需要は, 始点から終点までのパス上を移動する.
- ・ ネットワークは連結する.

次に, 記号の定義を示す.

N : ノード集合

A : アーク集合

K : 品種集合

N_n : ノード n に接続するアークの他方の端点の集合

K_n^o : ノード n を始点とする品種の集合

O^k : 品種 k の始点

D^k : 品種 k の終点

$K_{O^k}^o$: 品種 k の始点 O^k を始点とする品種の集合

c_{ij}^k : アーク (i, j) 上を $i \rightarrow j$ 向きに移動する品種 k の単位当たりの非負のフロー費用

f_{ij} : アーク (i, j) の非負のデザイン費用

x_{ij}^k : 品種 k のフローがアーク (i, j) 上を $i \rightarrow j$ 向きに移動する量を表すアークフロー変数; 非負の連続変数

y_{ij} : アーク (i, j) を選択するとき1, そうでないとき0であるデザイン変数; 0-1変数

Y : ネットワークが連結するようなデザイン変数の集合

v_n^k : 品種 k , ノード n に関するフロー保存式に対する双対変数; 連続変数

s_n^k : 品種 k , ノード n に関するフロー保存式に対する劣勾配; 整数変数

次に, UND の定式化を示す.

$$\text{最小化 } \sum_{(i,j) \in A} \sum_{k \in K} (c_{ij}^k x_{ij}^k + c_{ji}^k x_{ji}^k) + \sum_{(i,j) \in A} f_{ij} y_{ij} \quad (1)$$

$$\text{条件 } \sum_{i \in N_n} x_{in}^k - \sum_{j \in N_n} x_{nj}^k = \begin{cases} -1 & \text{if } n = O^k \\ 1 & \text{if } n = D^k \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad \forall n \in N, k \in K \quad (2)$$

$$x_{ij}^k + x_{ji}^h \leq y_{ij} \quad \forall h \in K_{O^k}^o, k \in K, (i, j) \in A \quad (3)$$

$$\mathbf{y} \in Y \quad (4)$$

$$x_{ij}^k \geq 0, x_{ji}^k \geq 0 \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (5)$$

$$y_{ij} \in \{0, 1\} \quad \forall (i, j) \in A \quad (6)$$

(1)式は目的関数であり，フロー費用とデザイン費用の総和を最小化する．(2)式はフロー保存式であり，ノードに流入するフローと流出するフローの差が，品種 k の始点であれば -1 ，終点であれば 1 ，その他のノードであれば 0 であることを表す．この式は，各品種について，必ず始点から終点まで需要が移動することを保証する．(3)式は，非逆流不等式である．左辺は品種 k の $i \rightarrow j$ 向きのフローと k と始点と同じである品種 h の $j \rightarrow i$ 向きのフローの和であり，これがアーク (i, j) が選択されるときに最大で 1 ，選択されないときに 0 となることを表す．(4)式は， $y_{ij}=1$ からなるアークで構成されるネットワークが連結することを表す．(5)式はフロー変数の非負条件，(6)式はデザイン変数の $0-1$ 条件である．

3 Lagrange 緩和法

UNDI に対して，Lagrange 乗数 v を用いて，フロー保存式(2)を Lagrange 緩和した問題 LG を作成する． LG は次のように表される．

(LG)

$$\begin{aligned} \text{最小化} \quad & \sum_{k \in K} (v_{D^k}^k - v_{O^k}^k) + \sum_{(i,j) \in A} \sum_{k \in K} \{ (c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k) x_{ij}^k + (c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) x_{ji}^k \} \\ & + \sum_{(i,j) \in A} f_{ij} y_{ij} \quad (7) \end{aligned}$$

$$\text{条件} \quad x_{ij}^k + x_{ji}^h \leq y_{ij} \quad \forall k \in K_{O^k}^o, k \in K, (i, j) \in A \quad (8)$$

$$x_{ij}^k \geq 0, x_{ji}^k \geq 0 \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (9)$$

$$\mathbf{y} \in Y \quad (10)$$

$$y_{ij} \in \{0, 1\} \quad \forall (i, j) \in A \quad (11)$$

はじめに，連結条件(10)を取り除いた問題 LG' を考える．適当な v を与えると目的関数の第一項 $\sum_{k \in K} (v_{D^k}^k - v_{O^k}^k)$ は定数項として扱えるため， LG' はアーク (i, j) 毎の独立した次のような問題 LG'_{ij} に分割できる．

(LG'_{ij})

$$\text{最小化} \quad \sum_{k \in K} \{ (c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k) x_{ij}^k + (c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) x_{ji}^k \} + f_{ij} y_{ij} \quad (12)$$

$$\text{条件} \quad x_{ij}^k + x_{ji}^h \leq y_{ij} \quad \forall h \in K_{O^k}^o, k \in K \quad (13)$$

$$x_{ij}^k \geq 0, x_{ji}^k \geq 0 \quad \forall k \in K \quad (14)$$

$$y_{ij} \in \{0, 1\} \quad (15)$$

始点を n とする品種集合 K_n^o を用いると, $k \in K$ は $n \in N$, $k \in K_n^o$ と表現でき, $h \in K_{\phi^k}$ は $h \in K_n^o$ と表現できるので, LG_{ij} は次のような問題 LG'_{ij} に書き直すことができる.

(LG'_{ij})

$$\text{最小化} \quad \sum_{n \in N} \sum_{k \in K_n^o} \{(c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k)x_{ij}^k + (c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k)x_{ji}^k\} + f_{ij}y_{ij} \quad (16)$$

$$\text{条件} \quad x_{ij}^k + x_{ji}^h \leq y_{ij} \quad \forall h \in K_n^o, k \in K_n^o, n \in N \quad (17)$$

$$x_{ij}^k \geq 0, x_{ji}^k \geq 0 \quad \forall k \in K_n^o, n \in N \quad (18)$$

$$y_{ij} \in \{0, 1\} \quad (19)$$

LG'_{ij} において, y_{ij} は 0 または 1 のどちらかである. そこで, $y_{ij}=1$ と $y_{ij}=0$ の場合に分けて考える.

$y_{ij}=1$ である場合, $f_{ij}y_{ij}$ は定数項となるので, LG'_{ij} は次のようなノード n 毎の独立した問題 LG_{ij}^{n1} に分割できる.

(LG_{ij}^{n1})

$$\text{最小化} \quad \sum_{k \in K_n^o} \{(c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k)x_{ij}^k + (c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k)x_{ji}^k\} \quad (20)$$

$$\text{条件} \quad x_{ij}^k + x_{ji}^h \leq 1 \quad \forall k \in K_n^o, h \in K_n^o \quad (21)$$

$$x_{ij}^k \geq 0, x_{ji}^k \geq 0 \quad \forall k \in K_n^o \quad (22)$$

(20)式は, 高々一方向のフローを許す非逆流制約式となる. $i \rightarrow j$ 方向のフローが存在するとき, x_{ij}^k の上限は 1 であり, かつ最小化問題であるため, 目的関数値の最適値は $\sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k)$ となる. 一方, $j \rightarrow i$ 方向のフローが存在するとき, 目的関数値の最適値は $\sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k)$ となる. 最小化問題であるため, これらの小さい方が選ばれる. このため, LG_{ij}^{n1} の最適値 $\tilde{\phi}_{ij}^{n1}$ は,

$$\tilde{\phi}_{ij}^{n1} = \min \left\{ \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k), \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) \right\} \quad n \in N, (i, j) \in A \quad (23)$$

となり, 最適解 \tilde{x} は次のようになる.

$$\tilde{x}_{ij}^k = \begin{cases} 1 & \text{if } \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k) \leq \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) \\ & \text{and } c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k < 0 \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (24)$$

$$\tilde{x}_{ji}^k = \begin{cases} 1 & \text{if } \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) < \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k) \\ & \text{and } c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k < 0 \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (25)$$

一方, $y_{ij}=0$ である場合, LG_{ij} の最適値は 0 である. したがって, LG_{ij} はフロー変数 x を用いない次のような問題 $LG_{Y_{ij}}$ に帰着できる.

($LG_{Y_{ij}}$)

$$\text{最小化} \quad \left[\sum_{n \in N} \min \left\{ \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k), \sum_{k \in K_n^d} \min(0, c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) \right\} + f_{ij} \right] y_{ij} \quad (26)$$

$$\text{条件} \quad y_{ij} \in \{0, 1\} \quad (27)$$

以上のことから, 連結条件(10)も考慮すると, LG はフロー変数 x を用いない次のような問題 LG_Y に帰着できる.

(LG_Y)

$$\begin{aligned} \text{最小化} \quad & \sum_{k \in K} (v_{D^k} - v_{O^k}) \\ & + \sum_{(i,j) \in A} \left[\sum_{n \in N} \min \left\{ \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k), \sum_{k \in K_n^d} \min(0, c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) \right\} \right. \\ & \left. + f_{ij} \right] y_{ij} \quad (28) \end{aligned}$$

$$\text{条件} \quad \mathbf{y} \in Y \quad (29)$$

$$y_{ij} \in \{0, 1\} \quad \forall (i, j) \in A \quad (30)$$

アークの重み W を(28)式の \mathbf{y} の係数とし, 次のようにおく.

$$W_{ij} = \sum_{n \in N} \min \left\{ \sum_{k \in K_n^o} \min(0, c_{ij}^k - v_j^k + v_i^k), \sum_{k \in K_n^d} \min(0, c_{ji}^k - v_i^k + v_j^k) \right\} + f_{ij} \quad \forall (i, j) \in A \quad (31)$$

LG_Y は, アークの重み W の合計が最小となる連結を求める問題となる. ただし, 重みが負となる場合があることに注意する. この問題の解は, 最小木問題の解と重みが負であるアークを併せたものとなる.

LG_Y の解法

[ステップ 1] $W_{ij} < 0$ であるアーク $(i, j) \in A$ について $\hat{y}_{ij} := 1$ とし, それ以外を $\hat{y}_{ij} := 0$ とする.

[ステップ 2] $\hat{\mathbf{y}}$ により連結される成分をノードに縮約する. 連結成分に含まれるノード集合 M の縮約ノード m と G の縮約ノード g 間のアークの重みを $W'_{mg} := \min_{i \in M, j \in G} W_{ij}$

[ステップ 3] アークの重みを W' とした縮約したネットワーク上で, 最小木を求める.

[ステップ 4] 最小木に含まれるアーク (i, j) について, $\hat{y}_{ij} := 1$ とする.

ステップ3において、最小木はKruskal法[3]などを用いて求めることができる。

LGY の最適解 \hat{y} を用いると、 LG の最適解 \hat{x} は次のようになる。

$$\hat{x}_{ij}^k = \begin{cases} \hat{x}_{ij}^k & \text{if } \hat{y}_{ij} = 1 \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases}, \quad \hat{x}_{ji}^k = \begin{cases} \hat{x}_{ji}^k & \text{if } \hat{y}_{ij} = 1 \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (32)$$

\hat{y} を LGY の目的関数に代入すれば、 LG の最適値、すなわち UND の下界値を求めることができる。

\hat{y} 、 \hat{x} が求められたときに、 LG においてLagrange乗数 v を変数と見なした最大化問題を LD とすると、 LD は次のように表される。

(LD)

$$\begin{aligned} \text{最大化} \quad & \sum_{(i,j) \in A} \sum_{k \in K} (c_{ij}^k \hat{x}_{ij}^k + c_{ji}^k \hat{x}_{ji}^k) + \sum_{(i,j) \in A} f_{ij} \hat{y}_{ij} \\ & + \sum_{k \in K} v_{O^k}^k \left(-1 - \sum_{i \in N_{O^k}} \hat{x}_{iO^k}^k + \sum_{j \in N_{O^k}} \hat{x}_{O^k j}^k \right) + \sum_{k \in K} v_{D^k}^k \left(1 - \sum_{i \in N_{D^k}} \hat{x}_{iD^k}^k + \sum_{j \in N_{D^k}} \hat{x}_{D^k j}^k \right) \\ & + \sum_{k \in K} \sum_{n \in N \setminus \{O^k, D^k\}} v_n^k \left(- \sum_{i \in N_n} \hat{x}_{in}^k + \sum_{j \in N_n} \hat{x}_{nj}^k \right) \end{aligned} \quad (33)$$

LD は陽的な制約条件をもたない問題である。しかし、 v が変化すると LG の最適解である \hat{x} が離散的に変化し、 LD における v の係数も離散的に変化することになる。このため、 LD は微分不可能な項を含む最適化問題となる。そこで、 LD に対して劣勾配法[5]を適用する。

v に関する劣勾配 s を v の係数、すなわち、

$$s_n^k = \begin{cases} -1 - \sum_{i \in N_n} \hat{x}_{in}^k + \sum_{j \in N_n} \hat{x}_{nj}^k & \text{if } n = O^k \\ 1 - \sum_{i \in N_n} \hat{x}_{in}^k + \sum_{j \in N_n} \hat{x}_{nj}^k & \text{if } n = D^k \\ - \sum_{i \in N_n} \hat{x}_{in}^k + \sum_{j \in N_n} \hat{x}_{nj}^k & \text{otherwise} \end{cases} \quad \forall k \in K, n \in N \quad (34)$$

とする。

この劣勾配を用いて次のように乗数を更新する。

$$v_n^k := v_n^k + \theta_l s_n^k \quad \forall k \in K, n \in N \quad (35)$$

ここで、 θ_l は l 回目の繰り返しにおけるステップサイズである。適当な UND の最良の上界値を UB 、 l 回目の繰り返しにおける UND の下界値を LB_l 、パラメータを ρ ($0 < \rho < 2$) としたときに、 θ_l は次式で与えられる。

$$\theta_l = \frac{\rho(UB - LB_l)}{\sum_{k \in K} \sum_{n \in N} (v_n^k)^2} \quad (36)$$

UNDに対するLagrange緩和法の流れをまとめておく。

Lagrange緩和法

- [ステップ1] 適当な v の初期値を与える。繰返し回数の上限を l_{max} 、収束判定基準を ϵ とする。劣勾配法のパラメータを ρ 、 ρ の変更率を λ 、変更周期を l_ρ とする。最良の上界値を UB 、最良の下界値を LB とする。 $UB:=\infty$, $LB:=0$, $\rho:=1$, $l:=1$ とする。
- [ステップ2] LG を解き、 l 回目の下界値 LB_l および最適解 \hat{y} , \hat{x} を求める。 $LB_l > LB$ であれば $LB:=LB_l$ とする。
- [ステップ3] \hat{y} を用いて適当なLagrangeヒューリスティックを行い、 l 回目の上界値 UB_l を求める。 $UB_l < UB$ であれば $UB:=UB_l$ とする。
- [ステップ4] $l=l_{max}$ または $(UB-LB)/LB < \epsilon$ であれば終了する。
- [ステップ5] $l \bmod l_\rho = 0$ であれば、 $\rho:=\rho \times \lambda$ とする。
- [ステップ6] \hat{y} , \hat{x} より劣勾配 s を求め、劣勾配法により v を更新する。 $l:=l+1$ として、ステップ2へ戻る。

4 Lagrange ヒューリスティック

Lagrange緩和解を用いた三種類のLagrangeヒューリスティックを示す。Lagrange緩和法では、劣勾配法の繰返し毎に緩和解が得られる。Lagrangeヒューリスティックは、Lagrange緩和解を改良して近似解および上界値を求める解法である。劣勾配法の繰返し毎に近似解を求めることができ、これらの内の最良解を最終的な近似解として採用する。

4. 1. 初期解

Lagrange緩和問題ではフロー保存式を緩和しているため、フロー変数がフロー保存式を満たしているとは限らない。しかし、デザイン変数解は実行可能解となる。Lagrange緩和問題のデザイン変数解を \hat{y} とする。UNDにおいて y を \hat{y} に固定した問題 $AFY(\hat{y})$ は次のようになる。

$AFY(\hat{y})$

$$\text{最小化} \quad \sum_{(i,j) \in A} \sum_{k \in K} (c_{ij}^k x_{ij}^k + c_{ji}^k x_{ji}^k) + \sum_{(i,j) \in A} f_{ij} \hat{y}_{ij} \quad (37)$$

$$\text{条件} \quad \sum_{i \in N_n} x_{in}^k - \sum_{j \in N_n} x_{nj}^k = \begin{cases} -1 & \text{if } n = O^k \\ 1 & \text{if } n = D^k \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases} \quad \forall n \in N, k \in K \quad (38)$$

$$x_{ij}^k + x_{ji}^k \leq \hat{y}_{ij} \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (39)$$

$$x_{ji}^k \leq \hat{y}_{ij} \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (40)$$

$$x_{ij}^k \geq 0, x_{ji}^k \geq 0 \quad \forall k \in K, (i, j) \in A \quad (41)$$

目的関数の末項は定数項であるので、 $AFY(\hat{\mathbf{y}})$ は品種 k 毎の独立した問題 $AFY^k(\hat{\mathbf{y}})$ に分解することができる。 $AFY^k(\hat{\mathbf{y}})$ は、 $\hat{y}_{ij} = 1$ であるアークにより構成されたネットワーク上において、アーク (i, j) の長さを c_{ij}^k 、アーク (j, i) の長さを c_{ji}^k とした品種 k の始点・終点間の最短路問題となるため、Dijkstra法[3]などを用いて解くことができる。これらの問題を解けば、 UND のフロー変数の実行可能解 $\hat{\mathbf{x}}$ を求めることができる。

$\hat{\mathbf{y}}$ は UND の実行可能解であり、 $\hat{\mathbf{y}}$ を用いて実行可能なフロー変数が求めれば、これらは UND の実行可能解となる。さらに、デザイン変数解を初期解としたヒューリスティック解法を適用すれば、より良い解を求めることができる。

4. 2 限定したMinouxタイプのフォワード法

フォワード法は、初期解より、目的関数値が減少するようなアークを逐次加えていく貪欲法[3]である。しかし、問題の規模が大きくなると大きな計算時間を必要とする。このため、付加の対象となるアークを限定したMinouxタイプのリストを用いたフォワード法を提案する。

LGY は最小化問題であるため、 LGY における y_{ij} の係数 $W_{ij} \leq 0$ であれば、 $y_{ij} = 1$ が最適解となる。また、 W_{ij} が小さい方が最適木に含まれる可能性が高くなる。そこで、 W_{ij} を昇順に並べ換え、 W_{ij} の小さい順に κ 本を選択し、これらのアークのデザイン変数を付加するアークの候補とする。 κ を大きくすれば、最適解において1となるアークを近似解に含めることができる可能性が高くなる。このように、付加するアークを限定することにより、計算量を抑えることができる。

各アークに対して、Lagrange緩和による初期解においてアークを付加したときの目的関数値の減少量を計算し、目的関数値の減少量とアークを目的関数値の減少量の降順にリストに格納しておく。なお、目的関数値の減少量はMurchland法[7]を用いると、効率的に求めることができる。

目的関数値の減少量の大きい順にアークの付加を検討する。アークを付加する対象となったときに、現在のネットワークにおいて、目的関数値の減少量を再計算する。この減少量が正でリスト内で最大であるときのみアークを付加する。この減少量が正でリスト内で最大でないときには、リストの適切な位置に目的関数値の減少量とアークを格納

する。

Minouxタイプのフォワード法

- [ステップ1] Lagrange緩和解より，初期解を求める．付加対象基準 κ により，付加対象のアーキ候補を選定する．
- [ステップ2] すべての付加対象アーキ (i, j) について，このアーキを付加した場合の目的関数値の減少量 Δ_{ij} を計算する．
- [ステップ3] $\Delta_{ij} > 0$ であるすべてのアーキ (i, j) について， Δ_{ij} の降順に該当するアーキと Δ_{ij} をリストに格納する．
- [ステップ4] リスト内に $\Delta_{ij} > 0$ であるアーキ (i, j) がなければ，終了する．そうでなければ，リストから Δ_{ij} が最大であるアーキを取り出す．このアーキを (p, q) とする．
- [ステップ5] アーキ (p, q) に対して，現在のネットワークにおける Δ_{pq} を再計算する．
 - ・ $\Delta_{pq} > 0$ で，リスト内で最大であれば，ステップ6へ．
 - ・ $\Delta_{pq} > 0$ であれば， Δ_{pq} の値にしたがって，アーキ (p, q) と Δ_{pq} をリスト内の適切な位置に挿入し，ステップ4へ戻る．
 - ・ $\Delta_{pq} \leq 0$ であれば，ステップ4へ戻る．
- [ステップ6] アーキ (p, q) をネットワークに付加し，ステップ4へ戻る．

4. 3 限定したMinoux法の改良法

Minoux法の改良法[3]は，目的関数値が減少するようなアーキを削除していく方法である．ここでは，初期解に含むアーキを限定した方法を用いる．

LGYにおける y_{ij} の係数 W_{ij} を昇順に並べ換え，係数の小さい順に κ 本を選択し，これらのアーキのデザイン変数を1とする．加えて， $\hat{y}_{ij}=1$ であるアーキのデザイン変数を1としたものを初期解とする． κ を大きくすれば，最適解において1となるアーキを初期解に含めることができる可能性が高くなる．

続いて，Minoux法の改良法を用いて，初期解を改善する．Minoux法の改良法は高速な解法であり，初期解に含まれるアーキ数は高々 $\kappa + |N-1|$ 本と限定されるため，短時間で改善した解を求めることができる．

ネットワークに含まれるアーキに対して，アーキを取り除いたときの目的関数値の減少量を計算し，目的関数値の減少量とアーキを目的関数値の減少量の降順にリストに格納しておく．なお，目的関数値の減少量はMurchland法を用いると，効率的に求めることができる．

目的関数値の減少量の大きい順にアーキの削除を検討する．アーキが削除の対象と

なったときに、現在のネットワークにおいて、目的関数値の減少量を再計算する。この減少量が正でリスト内で最大であるときのみアークを取り除く。この減少量が正でリスト内で最大でないときには、リストの適切な位置に目的関数値の減少量とアークを格納する。

Minoux法の改良法

[ステップ1] Lagrange緩和解より、初期解を求める。対象基準 κ を満たすアークからなるネットワークを作成する。

[ステップ2] ネットワークに含まれているすべてのアーク (i, j) について、このアークを取り除いた場合の目的関数値の減少量 Δ_{ij} を計算する。

[ステップ3] $\Delta_{ij} > 0$ であるすべてのアーク (i, j) について、 Δ_{ij} の降順に該当するアークと Δ_{ij} をリストに格納する。

[ステップ4] リスト内に $\Delta_{ij} > 0$ であるアーク (i, j) がなければ、終了する。そうでなければ、リストから Δ_{ij} が最大であるアークを取り出す。このアークを (p, q) とする。

[ステップ5] アーク (p, q) に対して、現在のネットワークにおける Δ_{pq} を再計算する。

- ・ $\Delta_{pq} > 0$ で、リスト内で最大であれば、ステップ6へ。
- ・ $\Delta_{pq} > 0$ であれば、 Δ_{pq} の値にしたがって、アーク (p, q) と Δ_{pq} をリスト内の適切な位置に挿入し、ステップ4へ戻る。
- ・ $\Delta_{pq} \leq 0$ であれば、ステップ4へ戻る。

[ステップ6] アーク (p, q) をネットワークから取り除き、ステップ4へ戻る。

4.4 ω 近傍局所探索法

前述の二つの近似解法によって、現在までの最良の上界値と $\psi\%$ 以内の差の上界値が求まった場合、アーク交換にもとづく局所探索法により、これらを初期解として解を改善する。

ここで用いる局所探索法は、現在の解に含まれていないアークを付加し、現在の解に含まれているアークを削除したときの目的関数値の変化量を計算し、目的関数値が最も減少するようなアークの付加と削除を同時に行うアーク交換を行い、この操作を目的関数値が減少する間、繰り返す方法である。

アーク交換の組合せ数は非常に多いため、付加を検討するアークは、削除するアークの端点の近傍にある ω 個のノードを端点とするアークに限定する。このように限定しても、アーク交換の組合せ数は多い。そこで、アーク交換をアーク削除とアーク付加に分離し、アーク削除時の目的関数値の変化量を計算し、続いてアーク付加時の目的関数値の変

化量を計算し、その和をアーク交換時の目的関数の変化量とする。これにより、計算量を軽減することができる。アーク付加時および削除時の目的関数の変化量は、それぞれMurchland法を用いることができる。ただし、アーク削除時に連結性が失われる場合は、二つの部分グラフ間のカット上のアークを付加の対象として、アーク交換時の目的関数の変化量を計算する。

ω 近傍局所探索法

- [ステップ1] 現在の解を用いたネットワークを作成する。
- [ステップ2] 各アークの端点の近傍にある ω 個のノードを端点とするアークをそのアークに関する付加対象アークとする。
- [ステップ3] ネットワークに含まれているすべてのアーク (i, j) について、このアークを取り除いた場合の目的関数値の変化量 δ_{ij}^d を計算する。アークを取り除いたときに、ネットワークが非連結になればステップ5へ。
- [ステップ4] アーク (i, j) に関するすべての付加対象のアーク (q, r) に対して、このアークを加えた場合の目的関数値の変化量 δ_{qr}^a を計算する。
 $\Delta_{ij}^{qr} := \delta_{ij}^d + \delta_{qr}^a$ とする。ステップ6へ。
- [ステップ5] アーク (i, j) を取り除き、非連結となるネットワーク上のカットに含まれるアーク (q, r) を付加したときの目的関数値の変化量を計算し、 Δ_{ij}^{qr} とする。
- [ステップ6] Δ_{ij}^{qr} が最小となるアーク対 (i^*, j^*) , (q^*, r^*) を求める。
- [ステップ7] $\Delta_{i^*j^*}^{q^*r^*} \geq 0$ であれば、終了する。
- [ステップ8] ネットワークからアーク (i^*, j^*) を取り除き、アーク (q^*, r^*) を加える。ステップ3へ戻る。

4. 5 Lagrangeヒューリスティック

前節までに示したLagrangeヒューリスティックをまとめると、次のようになる。

Lagrangeヒューリスティック

- [ステップ1] アークの選択基準を κ , ω とし、局所探索法実施基準を ψ とする。
 $\bar{y} := 0$ とする。
- [ステップ2] Lagrange緩和問題 LG を解き、最適解 \hat{y} を求める。アーク (i, j) において、 $\hat{y}_{ij} = 1$ であれば $\bar{y}_{ij} = 1$ とする。
- [ステップ3] LG_Y における y_{ij} の係数 W_{ij} を昇順に並べ換える。 W_{ij} の小さい順に κ 本のアーク (i, j) を選択し、 $\bar{y}_{ij} = 1$ とする。

- [ステップ4] $\hat{y}_{ij} = 1$ であるアーク (i, j) で構成されるネットワークを初期解とする。
 $\hat{y}_{ij} = 0$ かつ $\bar{y}_{ij} = 1$ であるアークに対して限定したMinouxタイプの
フォワード法を適用し、近似解を求める。
- [ステップ5] \bar{y} を初期解とした限定したMinoux法の改良法を適用する。
- [ステップ6] ステップ4またはステップ5で求められた上界値が、現在までの最
良の上界値と $\psi\%$ 以内であれば、これらの近似解を初期解とした ω
近傍局所探索法を行う。
- [ステップ7] ステップ4～6で求められた内の最良解を近似解とする。

5 C言語によるソースコード

全体のフローチャートを図1に示す。同一規模の複数の問題を解くため、初めに規模ごとの設定を行っている。problemは問題数であり、問題ごとにFor problemとNext problemの間を繰り返す。初めに問題ごとの設定を行っている。For iterationとNext iterationは劣勾配法の繰り返しである。劣勾配法の繰り返しの中で、被約費用の計算、最小木問題の求解、劣勾配の算出、限定したフォワード法、限定したMinouxの改良法、限定した局所探索法を行った後で、終了判定を行っている。続いて、Lagrange乗数の更新、中間結果の表示を行っている。全問が終了と判定された場合に集計結果の表示を行い、計算を終了する。

次に、関数ごとに、関数名、入力、出力、呼び出し関数および概要を記述する。

int main(void) Lagrange 緩和法

入力 node, fixed_cost, fixed_lev, od_lev, arc_lev, od_level, arc_level

出力 x, upper_bound, lower_bound

呼び出し関数 read_data_1, clear_data_1, clear_data_2, read_data_2, vm_init,
adjacent_node, calc_ct, min_span_tree, calc_lower_bound, lower_bound_update,
calc_subgrad, rest_forward, rest_backward, adjacent_local_main,
etc, decide_exit, calc_v, inter_result_1, inter_result_2, result_main

Lagrange緩和法により、実行可能解、上界値および下界値を算出する。

void adjacent_local_main(void) ω 近傍局所探索法

入力 x

出力 x, upper_bound

呼び出し関数 dijk, calc_object, short_init, short_delete, connect, marge_node,
short_add, object_update, connect_node

現在の実行可能解に対して ω 近傍の局所探索を行い、上界値と実行可能解を算出

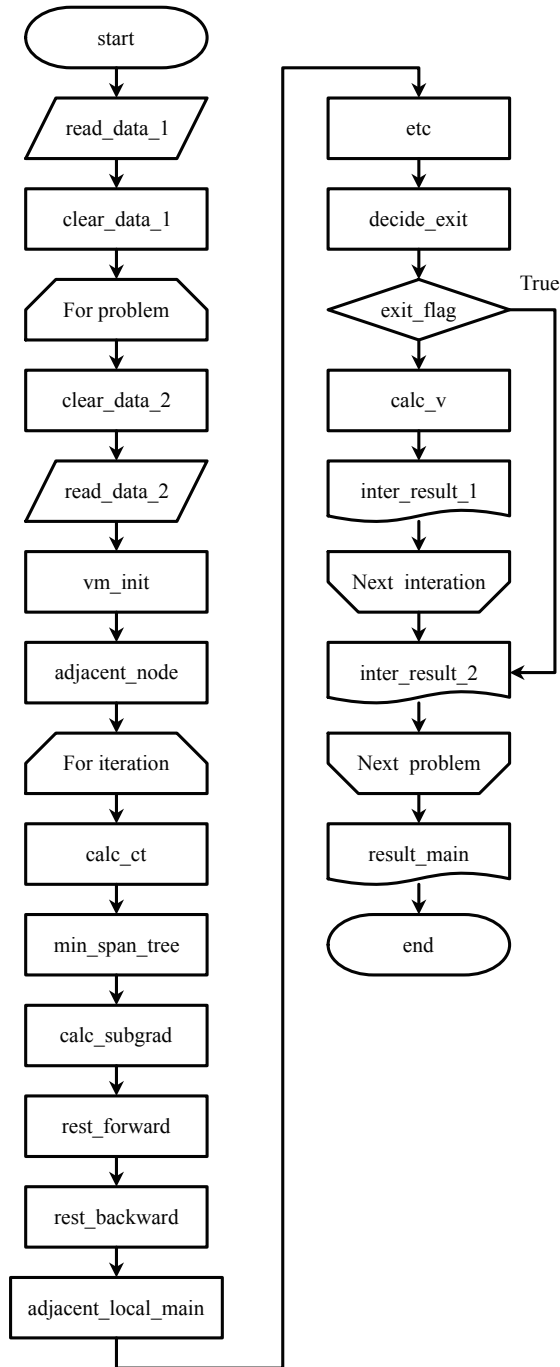


図1 フローチャート

する.

void adjacent_node(void) 近傍にあるノードリストの算出

入力 fixed_cost

出力 adj_node

各ノードについて, 固定費用が昇順となるような隣接ノードリストを算出する.

void calc_ct(void) 被約費用の算出

入力 flow_cost,vm

出力 ct

各アークについて, Lagrange緩和問題におけるデザイン変数の係数である被約費用の算出する.

void calc_flow(void) アークフローの算出

入力 path

出力 flow

最短パスから, 各アークのアークフローを算出する.

int calc_length(iis,iie) 最短距離の算出

入力 iis,iie,x,flow_cost

出力 length

フロー費用をアークの長さとして, 2ノード間の最短距離を算出する.

float calc_lower_bound(void) 下界値と緩和解の算出

入力 vm,fixed_cost,ct

出力 curr_lower_bound,x

Lagarange乗数から下界値と緩和解を算出する.

int calc_min_flow(i,j) 最小フローの算出

入力 i,j,path,flow

出力 minimum flow

パス上の最小フローを算出する.

float calc_object(distance) 上界値の算出

入力 distance,x,fixed_cost

出力 current_object

実行可能解と実行可能解におけるノード間距離から上界値を算出する.

void calc_subgrad(void) 劣勾配の算出

入力 flow_cost,vm

出力 wn

フロー費用とLagarange乗数から, アークと品種に関する劣勾配を算出する.

void calc_v(void) Lagrange乗数の更新
入力 theta,vm,wn
出力 vm
劣勾配とLagarange乗数により, Lagarange乗数を更新する.

void clear_data_1(void) 初期化
全体で使用する集計のための変数の初期値を設定する.

void clear_data_2(void) 初期化
品種数, アーク数を算出し, 被約費用を初期化する.

int connect(distance2) 連結性の判定
入力 distance2
出力 graph_connect
現在のグラフが連結しているか否かを判定する.

void connect_node(n1,n2,use_node,distance3) 連結性の判定の初期化
入力 use_node,distance3
出力 n1,n2,n1_num,n2_num
連結グラフに含まれるノード集合と, 含まれないノード集合に分割する.

void decide_exit(void) 終了判定
入力 pres,_total_wa,lower_bound,upper_bound,eps
出力 flag
高精度の解が求められたとき, 劣勾配の二乗和が0, 上界値=下界値の場合に, 終了と判定する.

void dijk(distance) Dijkstra法
入力 x,flow_cost
出力 distance,path
フロー費用をアークの長さとして, Dijkstra 法により全ノード間の最短距離と最短パスを算出する.

void etc(void) 各種計算
入力 wn,alpha,alpha_param,lower_bound,upper_bound
出力 total_wn,alpha,diff,theta,pres
各種パラメータの更新, 劣勾配の二乗和および精度の計算を行う.

float lower_bound_update(void) 下界値の更新
入力 lower_bound,current_lower_bound
出力 new_lower_bound
最良の下界値が得られた場合に下界値を更新する.

void init_upper_bound(void) 初期上界値の算出
 入力 fixed_cost,flow_cost
 出力 upper_bound,x
 呼び出し関数 minoux_mod,dijk,calc_object,object_update,m_forw_mod
 Minoux法の改良法と限定したフォワード法により, 上界値と近似解を算出する.

void inter_result_1(void) 中間結果の表示
 繰り返し中の中間の計算結果を表示する.

void inter_result_2(void) 中間結果の表示
 1問ごとの計算結果を表示する.

void m_forw_init_1(x_i,x_j,addobj_k,xin) 限定したフォワード法の初期設定
 入力 x,xin,fixed_cost,flow_cost
 出力 x_i,x_j,addobj_k
 呼び出し関数 calc_length,calc_min_flow
 限定したフォワード法における修正アーク費用を昇順に算出する.

void m_forw_main(x_i,x_j,point,addobj_k) 限定したフォワード法
 入力 x_i,x_j,addobj_k
 出力 x,current_object
 呼び出し関数 dijk,calc_object,object_update,short_init.short_add
 修正アーク費用を用いて, 限定したフォワード法を行い, 上界値を算出する.

void m_forw_mod(xin) 限定したフォワード法
 入力 x
 出力 object,upper_bound
 呼び出し関数 warshall,calc_object,object_update,m_forw_init_1,minoux_init_2,
 m forw main
 限定したフォワード法を行う.

void marge_node(adj_node_2,i,j,use_node) グラフの連結
 入力 adj_node_2,i,j
 出力 use_node,adj_node_2
 ノード集合を連結する.

void min_span_tree(void) Prim法
 入力 fixed_cost,ct
 出力 x,total_length
 呼び出し関数 min_span_tree_init,mst_main,min_span_tree_solution
 Prim法により最小木を算出する.


```

void min_span_tree_init(start_node,end_node,length_ct) Prim法の初期設定
    入力  fixed_cost,ct
    出力  length_ct
    修正アーク費用を求める.

void min_span_tree_solution(start_node,end_node,i_path) Prim法の解の算出
    入力  start_node,end_node,i_path
    出力  x
    最小木の解を算出する.

void minoux_init_1(x_i,x_j,delobj_k) minouxの改良法の初期化
    入力  flow,flow_cost,x
    出力  x_i,x_j,delobj_k
    呼び出し関数  calc_length
    アーク削除時の目的関数の変化量を降順に算出する.

void minoux_init_2(point) minouxの改良法の初期化
    入力  link
    出力  point
    変化量リストのポイントを初期化する.

void minoux_main(x_i,x_j,point,delobj_k) minouxの改良法
    入力  point,x_i,x_j,delobj_k
    出力  current_object
    呼び出し関数  dijk,calc_object,object_update,short_init,short_delete
    minouxの改良法により実行可能解と上界値を算出する.

void minoux_mod(void) minouxの改良法
    入力  point,x_i,x_j,delobj_k
    出力  current_object
    呼び出し関数  warshall,calc_object,object_update,calc_flow,minoux_init_1,minoux_
    init_2,minoux_main,dijk
    minouxの改良法を実行する.

void mst_main(start_node,end_node,i_path,float_length_ct) 最小木の解の算出
    入力  length_ct,start_node,end_node
    出力  i_path,total_length
    最小木および最小木の重みの合計を算出する.

float object_update(void) 上界値の更新
    入力  object,upper_bound
    出力  new_upper_bound

```

最良の下界値が得られた場合に下界値を更新する.

void read_data_1(void) データの読み込み
 問題の属性, 問題数, 固定費用比率, ノード数を読み込む.

void read_data_2(void) データの読み込み
 フロー費用を読み込む, 固定費用などを設定する.

void rest_backward(void) 限定したフォワード法
 入力 x,ct,fixed_cost
 出力 current_object
 呼び出し関数 warshall,calc_object,uobject_update,mioux_mod,dijk
 限定したフォワード法を実行する.

void rest_forward(void) 限定したフォワード法の初期設定
 入力 x,ct,fixed_cost
 出力 current_object,xin
 呼び出し関数 m_forw_mod,dijk,calc_object,uobject_update
 限定したフォワード法の初期設定を行う.

void result_main(void) 結果の表示
 全体の計算結果の集計を表示する.

void short_add(add_i,add_j,distance2) アーク付加時の最短距離の算出
 入力 add_i,add_j
 出力 distance2
 アークを付加したとき全ノード間の最短距離を算出する.

void short_delete(del_i,del_j,distance2) アーク削除時の最短距離の算出
 入力 del_i,del_j,distance2,flow_cost
 出力 distance2
 アークを削除したとき全ノード間の最短距離を算出する.

void short_init(distance,distance2) 最短距離の保存
 入力 distance
 出力 distance2
 最短距離を一時保存する.

void vm_init(void) Lagrange乗数の初期化
 入力 flow_cost
 出力 vm
 フロー費用を用いた最短経路問題を解くことによって, Lagrange 乗数の初期値を設定する.

void warshall(distance) floyd-warshall 法

入力 flow_cost,x

出力 distance,path

Floyd-Warshall 法により, 現在の解における全ノード間の最短距離を算出する.

図 2 に, C 言語によるソースコードを記述する. ページ数の制限から, 一行に複数の文を記述している場合があり, またインデントが 1 文字となっているが, 実際のソースコードでは一行は一文, インデントは 4 文字としている.

ソースコードで使用する主な配列, 変数および定数と, 定式化, 解法における変数およびパラメータの関係を示す.

problem_num : 問題数

node : ノード数 $|N|$

arc_num : アーク数 $|A|$

od_num : 品種数 $|K|$

flow : フロー費用 c

fixed : デザイン費用 f

flow : フロー解 x

x : デザイン解 y

vm : Lagrange 乗数 v

wn : 劣勾配 s

ct : 修正アーク費用 W

ite_limit : 繰り返し回数の上限 l_{max}

eps : 収束判定基準 ϵ

alpha : 劣勾配のパラメータ ρ

alpha_param : ρ の変更率 l_λ

param_int : ρ の変更周期 l_ρ

rest_param : アーク選択基準 κ

adj_param : アーク選択基準 ω

local_param : 局所探索法実施基準 ψ

図 3 および図 4 に, ノード数が 10 である問題の 2 つデータファイルを記載する. param.dat には, デザイン費用とフロー費用の比率, アーク基準の上限, 品種基準の上限が含まれている. und.dat には, 問題数, ノード数, フロー費用, アーク基準, 品種基準およびノードの xy 座標が含まれている. アーク基準の上限が 5 であればアーク基準が 5 以下であるアークをアーク集合とし, 品集基準の上限が 5 であれば品集基準が 5

以下であるノード対間を品種集合としている.

6 おわりに

本研究では, *UND*の定式化, Lagrange緩和法およびLagrangeヒューリスティックを示し, これらの解法のためのC言語によるソースコードを示した. ソースコードは, 十分に整理されたものとは言えないかもしれないが, プログラム開発において参考になれば幸いである. なお, 計算結果については, 片山の研究[4]に詳細が記載されている,

参考文献

- [1] A. Balakrishnan, T. L. Magnanti and P. Mirchandani. Network design. In M. Dell' Amico, F. Maffioli and S. Martello, editors, *Annotated Bibliographies in Combinatorial Optimization*, pp. 311-334. John Wiley & Sons, New York, 1997.
- [2] 片山直登. ネットワークデザイン問題. 久保幹雄, 田村明久, 松井知己 (編), 応用数理計画ハンドブック, pp. 1184-1282. 朝倉書店, 2002.
- [3] 片山直登. ネットワーク設計問題. 朝倉書店, 2008.
- [4] 片山直登. 多品種を考慮したロジスティクスネットワーク設計問題の数理的解法に関する研究. 博士論文, 流通経済大学, 2010.
- [5] 久保幹雄, 田村明久, 松井知己. 応用数理計画ハンドブック. 朝倉書店, 2002.
- [6] T. L. Magnanti and R. T. Wong. Network design and transportation planning: Models and algorithms. *Transportation Science*, Vol. 18, pp. 1-55, 1984.
- [7] P. A. Steenbrink. *Optimization of Transport Networks*. John Wiley & Sons, New York, 1974.
- [8] R. T. Wong. Introduction and recent advances in network design: Models and algorithms. In M. Florian, editor, *Transportation Planning Models*, pp. 187-225. Elsevier Science, North Holland, Amsterdam, 1984.

図 2 C 言語のソースコード

```

//*****
// 容量制約のないネットワーク設計問題
// Lagrange緩和法
//*****
#include <stdio.h>
#include <time.h>
const int n_num=101, icomm_num=9901, link_num=9901;
const int ite_limit=10000, inf=999999, param_int=100;
const int adj_param=10;
const float big=9999999.9, alpha_param=0.98, local_param=1.002;
const float rest_param=4.0, eps=0.01;
int arclev[n_num][n_num], odlev[n_num][n_num],
int flowcost[n_num][n_num], fixedcost[n_num][n_num];
int x[n_num][n_num], w[n_num][n_num][icomm_num];
int adj_node[n_num][n_num], path[n_num][n_num];
int od_level, arc_level, fixedlev, arc_num, od_num, ex_arc, link;
int prob_num, nodes, total_iteration, comm;
int total_wm, exit_flag, problem_ite, n_adj_node, n_adj_node_org;
int length_ij, min_flow, n_num, n2_num, g_connect, e_point;
float ct[n_num][n_num], w[n_num][n_num][icomm_num];
float total_lower_bound, total_upper_bound, object;
float upper_bound, lower_bound, total_vm, current_lower_bound;
float alpha, pres, theta, current_object, old_upper_bound;
clock_t start_time, end_time;
FILE *INP1, *INP2, *OUTP1, *OUTP2;
static void adjacent_local_main(void);
static void adjacent_node(void);
static void calc_ct(void);
static void calc_flow(void);
static int calc_length(int iis, int ite);
static float calc_lower_bound(void);
static float lower_bound_update(void);
static int calc_min_flow(int i, int j);
static float calc_object(int distance[n_num]);
static void calc_subgrad(void);
static void calc_v(void);
static void clear_data_1(void);
static void clear_data_2(void);
static int connect(int distance2[n_num]);
static void connect_node(int n1, int n2, int use_node, int
distance3[n_num]);
static void etc(void);
static void init_upper_bound(void);
static void inter_result_1(void);
static void inter_result_2(void);
static void m_forw_init_1(int x_i, int x_j, int
adobj_k, int xin[n_num]);
static void m_forw_main(int x_i, int x_j, int point, int
adobj_k);
static void m_forw_mod(int xin[n_num]);
static void merge_node(int adj_node_2, int i, int j, int
use_node);
static void min_span_tree(void);
end_node, float length_ct);
static void min_span_tree_solution(int start_node, int
end_node, int t_path);
static void minoux_init_1(int x_i, int x_j, int delobj_k);
static void minoux_init_2(int point);
static void minoux_main(int x_i, int x_j, int point, int
delobj_k);
static void minoux_mod(void);
static void nest_main(int start_node, int end_node, int
i_path, float length_ct);
static void read_data_1(void);
static void read_data_2(void);
static void rest_backward(void);
static void rest_forward(void);
static void result_main(void);
static void short_add(int i, int add_j, int
distance[n_num]);
static void short_delete(int del_j, int distance2[n
num]);
static void short_init(int distance[n_num], int distance2[n
num]);
static void vm_init(void);
static void warshall(int distance[n_num]);
static int decide_exit(void);
//*****
int main() {
read_data_1(); clear_data_1();
for (problem=1; problem<=prob_num; problem++) {
start_time=clock();
clear_data_2(); read_data_2(); vm_init();
adjacent_node();
n_adj_node=adj_param;
if (node<=n_adj_node) n_adj_node=ode-1;
for (ite=1; ite<=ite_limit; ite++) {
old_upper_bound=upper_bound;
calc_ct(); min_span_tree();
current_lower_bound=calc_lower_bound();
lower_bound=lower_bound_update();
calc_subgrad(); rest_forward(); rest_backward();
if (current_object<=upper_bound+local_param)
adjacent_local_main();
etc(); exit_flag=decide_exit();
if (exit_flag==1) break;
calc_v(); inter_result_1();
} //for
end_time=clock(); inter_result_2();
} //for
end_time=clock(); result_main();
fclose(INP1); fclose(INP2); fclose(OUTP1); fclose(OUTP2);
return(0);
} //main
//*****
void read_data_1(void) {
long ndummy;
fopen_s(&INP1, "und.dat", "r");
fopen_s(&INP2, "param.dat", "r");
fscanf_s(INP2, "%d", &ndummy);
fscanf_s(INP2, "%d", &fixcdlev);
fscanf_s(INP2, "%d", &arc_level);
fscanf_s(INP2, "%d", &od_level);
fscanf_s(INP2, "%d", &gd, &prob_num);
}

```

```

fscanf_s(INP1, "%d", &node);
pr intf ("ndummy=%d\n", ndummy);
fopen_s (&OUTP2, "undl\agout2.out", "a");
// read_data_1
//*****
void clear_data_1(void) {
total_lower_bound=0; total_upper_bound=0;
total_iterations=0;
fopen_s (&OUTP1, "undl\agout.out", "a");
// clear_data_1
//*****
void clear_data_2(void) {
int i, j;
upper_bound=big2; lower_bound=big2;
alpha=1; om=0;
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
if (i!=j&&od_level[i][j]<od_level) {
om=om+1;
}
}
}
//for
//for
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
ct[i][j]=0; ct[j][i]=0;
}
}
//for
//for
ex_arc=0;
// clear_data_2
//*****
void read_data_2(void) {
int i, j, dummy1, dummy2;
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
fscanf_s(INP1, "%d", &flow_cost[i][j]);
}
}
//for
//for
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
fscanf_s(INP1, "%d", &arc_level[i][j]);
}
}
//for
//for

```

```

}
//for
//for
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
fscanf_s(INP1, "%d", &od_level[i][j]);
}
}
//for
//for
for (i=1; i<=node; i++) {
fscanf_s(INP1, "%d", &dummy1, &dummy2);
}
//for
//for
for (i=1; i<=node; i++) {
flow_cost[i][i]=0;
}
//for
//for
arc_num=0;
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
if (i!=j&&arc_level[i][j]<=arc_level) {
fixed_cost[i][j]=flow_cost[i][j]*fixed_lev;
x[i][j]=1;
}
}
}
//if
//if
fixed_cost[i][j]=inf; flow_cost[i][j]=inf; x[i][j]=0;
}
//if
//if
if (i<=arc_level[i][j] && arc_level) {
arc_num=arc_num+1;
}
//if
//for
//for
od_num=0;
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
if (i!=j&&od_level[i][j] <= od_level) {
od_num=od_num+1;
}
}
}
//if
//for
//for
// read_data_2
//*****
void vm_init(void) {
int distance_in_num[in_num];
int i, j, i, new, m;

```

```

for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
path[i][j]=i; distance[i][j]=flow_cost[i][j];
if (i==j) {
distance[i][j]=0;
}
}
}
//for
//for
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
new=distance[i][j]+distance[i][j];
if (distance[i][j]>new) {
distance[i][j]=new; path[i][j]=path[i][j];
}
}
}
//if
//for
//for
//for
//for
nm=0;
for (i=1; i<=node; i++) {
for (j=1; j<=node; j++) {
if (i!=j&&od_level[i][j] <= od_level) {
mm=i;
}
}
}
vm[i][m]=distance[i][j];
}
//for
//for
//for
//for
// vm_init
//*****
int decide_exit(void) {
int flag;
flag=0;
if (pres==ops) flag=1;
if (total_wm==0) flag=1;
if (lower_bound==upper_bound) flag=1;
return(flag);
}
// decide_exit
//*****

```



```

//for
total_ct=0;
for (i=1; i<=node; i++) {
    for (j=i+1; j<=node; j++) {
        total_ct+=total_ct+ct[i][j]*x[i][j]+fixed_cost[i][j]*x[i][j];
    }
};
//for
//for
curr_lower_bound=total_wm*total_ct;.99;
return(curr_lower_bound);
//calc_lower_bound
//*****
float lower_bound_update(void) {
    float new_lower_bound;
    if (lower_bound<curr_lower_bound) {
        new_lower_bound=curr_lower_bound;
    } else {
        new_lower_bound=lower_bound;
    }
}
return(new_lower_bound);
// o lower_bound_update
//*****
void etc(void) {
    int m;
    float diff;
    total_wm=0;
    for (m=1; m<=comi; m++) {
        for (i=1; i<=node; i++) {
            total_wm+=total_wm+w[i][m]*w[i][m];
        }
    }
    if (total_wm==0) total_wm=1;
    diff=upper_bound-current_lower_bound;
    theta=alpha*(upper_bound-current_lower_bound)/tw;
    pres=100.0*(upper_bound-lower_bound)/lower_bound;
    // etc
    //*****
    void calc_v(void) {
        int m; i;

```

```

for (m=1; m<=comi; m++) {
    for (i=1; i<=node; i++) {
        w[i][m]=w[i][m]+theta*w[i][m];
    }
}
//for
//calc_v
//*****
void inter_result_1(void) {
    if (itr%200==0) {
        printf(" %3d p=%3d ub=%3d lb=%3d of e_lb=%3d of e_ub=%3d of
        err=%3d of prob lem. ite. upper_bound_lower_bound_lower_bound;
        //for
        //for
        //inter_result_1
        //*****
        void inter_result_2(void) {
            printf(" n=%3d p=%3d ub=%3d of lb=%3d of err=%3d of dex_ar
            c=%3d of n. node. prob lem. upper_bound_lower_bound_100.0*(upper_bo
            und-lower_bound)/lower_bound; ite. ex. arc);
            for (itr=0; itr<=10; itr++) {
                node=4d; fixedlev=%2d arc=%4d od=%4d ub=%3d;
                if (lb%10. If err=%3d. 2f time=%3d. 2f n.");
                node.fixedlev.arc.num.od.num. upper_bound_lower_bound_100.0*(
                upper_bound-lower_bound)/lower_bound; (end_time-start_time)
                //float) (LOCKS; PER; SEC);
                total_lower_bound=total_lower_bound-lower_bound;
                total_upper_bound=total_upper_bound+upper_bound;
                total_iteration=total_iteration+ite-1;
            }
            //inter_result_2
            //*****
            void result_main(void) {
                printf(" n=%3d total_ub=%3d of total_lb=%3d of err=%3d. 2f ite=%3d
                . 1f n.");
                node.total_upper_bound_total_lower_bound_100.0*(total_
                upper_bound-total_lower_bound)/total_lower_bound; total_ite_
                tion/(float)prob.num);
                for (itr=0; itr<=10; itr++) {
                    node=4d; fixedlev=%2d arc=%4d od=%4d ub=%3d;
                    if (lb%10. If err=%3d. 2f n. node.fixedlev.arc.num.od.num; total
                    upper_bound_total_lower_bound_100.0*(total_upper_bound-total
                    _lower_bound)/total_lower_bound);
                }
            }
            //result_main
            //*****

```

```

void min_span_tree(void) {
    int end_node[link_num]; start_node[link_num]; i_path[in_num];
    float length_ct[link_num];
    min_span_tree_init(start_node, end_node, length_ct);
    mst_main(start_node, end_node, i_path, length_ct);
    min_span_tree_solution(start_node, end_node, i_path);
}
// min_span_tree
//*****
void min_span_tree_init(int start_node[], int end_node[], float
length_ct[]) {
    int k=0; i; j;
    for (i=1; i<=node; i++) {
        for (j=i+1; j<=node; j++) {
            k=k+1; end_node[k]=0; start_node[k]=0; length_ct[k]=0;
        }
    }
}
//for
link=0;
for (i=1; i<=node; i++) {
    for (j=i+1; j<=node; j++) {
        if (fixed_cost[i][j]>=inf) {
            fixed_cost[i][j]=inf; fixed_oost[j][i]=inf;
        } else {
            if (i==j) {
                link=link+1; end_node[link]=start_node[link]=i;
                length_ct[link]=fixed_cost[i][j]+ct[i][j];
            }
        }
    }
}
//for
//for
//min_span_tree_init
//*****
void mst_main(int start_node[], int end_node[], int
i_path[], float length_ct[]) {
    int k, end_node[in_num]; node_label[in_num];
    int m, end_node[link_num]; m_start_node[link_num];
    float v[link_num]; t[link_num]; scan_node[link_num];
    int n; i; j; k; kk; l; scanned_node; s; node;
    float min_v; total_length;
    total_length=0; n=0; min_v=0;

```



```

for (i=1; i<=node; i++) {
    k_end_node[i]=0; node_label[i]=0; i_path[i]=0;
    for (j=i+1; j<=node; j++) {
        mpr+1; s[n]=0; m_end_node[n]=0; m_start_node[n]=0;
        t[n]=0; v[n]=0; scan_node[n]=0;
    } //for
} //for
for (k=1; k<=nk; k++) {
    if (k_end_node[end_node[k]]<0) {
        k_end_node[end_node[k]]=k; s[end_node[k]]=k;
    } else {
        k<=s[end_node[k]]; m_end_node[k]=k; s[end_node[k]]=k;
    } //if
    if (node_label[start_node[k]]<0) {
        node_label[start_node[k]]=k; t[start_node[k]]=k;
    } else {
        k<=t[start_node[k]]; m_start_node[k]=k; s[start_node[k]]=k;
    } //if
} //for
for (i=1; i<=node; i++) {
    v[i]=big; s[i]=i; t[i]=i;
} //for
s_node=i; i=s_node; v[i]=0; s[i]=0; scanned_node=i;
while (!) {
    k=k_end_node[i];
    if (k!=0) {
        do {
            if (scan_node[k]==0) {
                scan_node[k]=i; j=start_node[k];
                if (v[j]>length.ct[k]) {
                    v[j]=length.ct[k]; i_path[j]=k;
                } //if
            } //if
            k=m_end_node[k];
        } while (k>0);
    } //if
    k=node_label[i];
    if (k!=0) {
        do {
            if (scan_node[k]==0) {
                scan_node[k]=i; j=end_node[k]>&&start_node[k]>0;
                x[start_node[k]]=end_node[k]; i=;
            } if (scan_node[k]==0) {

```

```

        scan_node[k]=i; j=end_node[k];
        if (v[j]>length.ct[k]) {
            v[j]=length.ct[k]; i_path[j]=k;
        } //if
    } //if
    k=m_start_node[k];
    while (k>0);
} //while (k>0);
if (scanned_node==node-1) break;
min_v=big;
for (j=1; j<=node; j++) {
    j=t[j];
    if (v[j]<min_v) {
        min_v=v[j]; i=j;
    } //if
} //for
scanned_node=scanned_node+1;
i=s[j]; j=t[scanned_node]; s[j]=i; t[j]=j; s[i]=0;
} //while
for (i=1; i<=node; i++) {
    if (i!=s_node) {
        total_length=total_length+length.ct[i_path[i]];
    } //if
} //for
} //mst_main
} //*****
void min_span_tree_solution(int start_node[], int
end_node[], int i_path[]) {
    int i, j, k;
    for (i=1; i<=node; i++) {
        for (j=1; j<=node; j++) {
            x[i][j]=0;
        } //for
    } //for
    for (i=1; i<=node; i++) {
        i=t[i];
    } //while
    k= i_path[i];
    if (end_node[k]>&&start_node[k]>0) {
        x[start_node[k]]=end_node[k]; i=;
    } //while
} //min_span_tree_solution

```

```

        } //if
    } //if
} //for
} //min_span_tree_solution
} //*****
float calc_object(int distance[][n_num]) {
    int i, j;
    float current_object; current_object=0;
    for (i=1; i<=node; i++) {
        for (j=1; j<=node; j++) {
            if (i!=j) {
                if (od_level[i][j]<=od_level[i]) {
                    current_object=current_object+distance[i][j];
                } //if
            } //if
        } //for
    } //for
    return (current_object);
} //calc_object
} //*****
float object_update(void) {
    float new_upper_bound;
    if (object(upper_bound) {
        new_upper_bound=object;
    } else {
        new_upper_bound=new_upper_bound;
    } //if
    return (new_upper_bound);
} //object_update
} //*****
void init_upper_bound(void) {
    int distance[n_num][n_num];
    int x[n_num][n_num];
    int i, j;
    for (i=1; i<=node; i++) {

```

```

for (j=1; j<=node; j++) {
  x[j][j]=0;
  if (f(xed_cost[j][j]<inf) {
    if (i!=j) {
      x[j][j]=i;
    } //if
  } //if
} //for
} //for
minoux_mod 0;
objct=cal_c_objct(distance);
upper_bound=objct_update 0;
for (i=1; i<=node; i++) {
  for (j=i+1; j<=node; j++) {
    if (f(xed_cost[j][j]<inf) {
      xin[j][j]=i; xin[j][j]=i;
    } else {
      xin[j][j]=0; xin[j][j]=0;
    } //if
  } //for
} //for
m_forw_mod(xin); d_jk(distance);
objct=cal_c_objct(distance); upper_bound=objct_update 0;
} // init_upper_bound
//*****
void minoux_mod(void) {
  int deobj_k[ink_num], x_i[ink_num], x_j[ink_num];
  int point[ink_num];
  warshall(distance);
  objct=cal_c_objct(distance); upper_bound=objct_update 0;
  if (objct<big) {
    calc_flow 0; minoux_init_1(x_i, x_j, deobj_k);
    minoux_init_2(point); minoux_main(x_i, x_j, point, deobj_k);
    d_jk(distance);
    objct=cal_c_objct(distance); upper_bound=objct_update 0;
  } //if
} // minoux_mod
//*****

```

```

void minoux_init_1(int x_i[], int x_j[], int deobj_k[]) {
  int i, j, l;
  deobj_k[0]=inf;
  link=0;
  for (i=1; i<=node; i++) {
    for (j=i+1; j<=node; j++) {
      if (x[j][j]==1) {
        link=link+1; x[j][j]=0; x[j][j]=0;
        length_j_j=cal_c_length(i, j);
        x[j][j]=1; x[j][j]=1; x_i[ink]=i; x_j[ink]=j;
        deobj_k[ink]=fow[i][j]*length_j_j-(fow[j][j]*fow_low_cost
          [j][j]+f_xed_cost[j][j]);
      } //if
    } //for
  } //for
  for (i=1; i<=link-1; i++) {
    for (j=i+1; j<=link; j++) {
      if (deobj_k[i]>deobj_k[j]) {
        i=deobj_k[j]; deobj_k[i]=deobj_k[j]; deobj_k[j]=i;
        i=x_i[j]; x_i[i]=x_i[j]; x_i[j]=i;
        i=x_j[j]; x_j[i]=x_j[j]; x_j[j]=i;
      } //if
    } //for
  } //for
} // minoux_init_1
//*****
void minoux_init_2(int point[]) {
  int i;
  point[0]=1;
  for (i=1; i<=link-1; i++) {
    point[i]=i+1;
  } //for
  point[ink]=0;
  c_point=2;
} // minoux_init_2
//*****
void minoux_main(int x_i[], int x_j[], int point[], int deobj_k
  []) {
  int distance[in_num][n_num];
  int distance2[in_num][n_num];

```

```

int de_l_ink, next_point, i, j;
float de_l_objct;
d_jk(distance); objct=cal_c_objct(distance);
short_init(distance, distance2); current_objct=objct;
do {
  de_l_ink=point[0]; i [de_l_ink];
  x[i][j]=0; x[j][j]=0;
  short_init(distance, distance2); short_delete(i, j, distance2);
  objct=cal_c_objct(distance2); upper_bound=objct_update 0;
  short_init(distance, distance2);
  x[i][j]=1; x[j][j]=1; de_l_objct=objct-current_objct;
  if (de_l_objct>0) {
    point[0]=point[de_l_ink];
    point[de_l_ink]=0;
  } else {
    if (de_l_objct<=deobj_k[point[de_l_ink]]) {
      x[i][j]=0; x[j][j]=0;
      d_jk(distance);
      objct=cal_c_objct(distance); upper_bound=objct_update 0;
      current_objct=objct;
      point[0]=point[de_l_ink]; point[de_l_ink]=0;
    } else {
      c_point=de_l_ink; next_point=point[c_point];
      while(1) {
        if (de_l_objct<=deobj_k[next_point]) {
          point[0]=point[de_l_ink]; point[c_point]=de_l_ink;
          point[de_l_ink]=next_point;
          deobj_k[de_l_ink]=de_l_objct;
          break;
        } //if
        c_point=next_point; next_point=point[c_point];
      } //while
    } //if
  } //if
} while (deobj_k[c_point]<=0&&point[0]!=0&&current_objct
  <big);
} // minoux_main
//*****
void short_init(int distance[in_num][n_num], int distance2[in_num][n_num]) {
  int i, j;

```



```

xin[n_num] {
  int i, j, f;
  calc_flow0;
  addobj_k[0]=inf; link=0;
  for (i=1; k<=mode; i++) {
    for (j=i+1; j<=node; j++) {
      if (x[i][j]==0&&fixed_cost[i][j]<inf) {
        if (x[i][j]==0) {
          link=i; length_j=calc_length(i, j);
          min_flow=calc_min_flow(i, j); x_j[link]=j;
          addobj_k[0]=min_flow*flow_cost[i][j]+fixed_cost[i][j]
          -min_flow*length_j;
        } //if
      } //if
    } //for
  } //for
  for (i=1; k<=link-1; i++) {
    for (j=i+1; j<=link; j++) {
      if (addobj_k[0]>addobj_k[j]) {
        addobj_k[j]=addobj_k[0];
        i=x_i[j]; j=x_j[j]; x_j[j]=i;
      } //if
    } //for
  } //for
  m_forw_init_1
  //*****
  void m_forw_main(int x_i[0], int x_j[0], int point[0], int
  addobj_k[0]) {
    int distance[n_num][n_num], distance2[n_num][n_num];
    int add_link, next_point, i, j;
    float add_objject;
    dj_k(distance);
    objject=calc_objject(distance); upper_bound=objject_update_0;
    short_init(distance, distance2);
    current_objject=objject;
  } //do {
    add_link=point[0]; i=x_i[add_link]; j=x_j[add_link];
    x[i][j]=1; x[j][i]=1;
    short_init(distance, distance2); short_add(i, j, distance2);
  } //for
}

```

```

for (i=1; i<=link-1; i++) {
  for (j=i+1; j<=link; j++) {
    if (ct_fixed[i][j]>ct_fixed[j][i]) {
      p=ct_fixed[i][j]; ct_fixed[i][j]=ct_fixed[j][i]; ct_fixed[j][i]=p;
    } //if
  } //for
} //for
node=mode*rest_param; ct_fixed_flag=ct_fixed[rmode];
for (i=1; i<=mode; i++) {
  for (j=i+1; j<=node; j++) {
    xin[i][j]=0; xin[j][i]=0;
    if (fixed_cost[i][j]<inf) {
      if (ct[i][j]+fixed_cost[i][j]<ct_fixed_flag) {
        xin[i][j]=1; xin[j][i]=1;
      } //if
    } //if
  } //for
} //for
m_forw_mod(xin); dj_k(distance);
objject=calc_objject(distance); upper_bound=objject_update_0;
current_objject=objject;
// rest_forward
//*****
void m_forw_mod(int xin[n_num]) {
  int distance[n_num][n_num];
  int addobj_k[link_num], x_i[link_num], x_j[link_num];
  int point[link_num];
  c_point=0;
  warshal(distance);
  objject=calc_objject(distance); upper_bound=objject_update_0;
  if (objject<big) {
    m_forw_init_1(x_i, x_j, addobj_k, xin); minoux_init_2(point);
    if (link>0) {
      m_forw_main(x_i, x_j, point, addobj_k);
      objject=calc_objject(distance); upper_bound=objject_update_0;
    } //if
  } //if
} //for
//*****
void m_forw_init_1(int x_i[0], int x_j[0], int addobj_k[0], int

```

```

for (j=i+1; k<=mode; j++) {
  link=link+1;
  ct_fixed[link]=ct[i][j]+fixed_cost[i][j];
} //for
} //for
for (i=1; i<=link-1; i++) {
  for (j=i+1; j<=link; j++) {
    if (ct_fixed[i][j]>ct_fixed[j][i]) {
      p=ct_fixed[i][j]; ct_fixed[i][j]=ct_fixed[j][i]; ct_fixed[j][i]=p;
    } //if
  } //for
} //for
node=mode*rest_param; ct_fixed_flag=ct_fixed[rmode];
for (i=1; i<=mode; i++) {
  for (j=i+1; j<=node; j++) {
    x[i][j]=0; x[j][i]=0;
    if (ct[i][j]+fixed_cost[i][j]<ct_fixed_flag) {
      x[i][j]=1; x[j][i]=1;
    } //if
  } //for
} //for
warshal(distance);
objject=calc_objject(distance); upper_bound=objject_update_0;
if (objject<big) {
  minoux_mod(0); dj_k(distance);
  objject=calc_objject(distance); upper_bound=objject_update_0;
} //if
current_objject=objject;
// rest_backward
//*****
void rest_forward(void) {
  int distance[n_num][n_num], xin[n_num][n_num];
  int i, j, rmode;
  float ct_fixed[link_num], p, ct_fixed_flag;
  link=0;
  for (i=1; i<=mode; i++) {
    for (j=i+1; j<=mode; j++) {
      link=link+1; ct_fixed[link]=ct[i][j]+fixed_cost[i][j];
    } //for
  } //for
} //for

```

```

for (j=+1; j<=mode; j++) {
    link=link+1;
    ct_fixed[link]=ct[link]+fixed_cost[link];
} //for
for (i=1; i<=link-1; i++) {
    for (j=+1; j<=link; j++) {
        if (ct_fixed[i]>ct_fixed[j]) {
            p=ct_fixed[j]; ct_fixed[i]=ct_fixed[j]; ct_fixed[j]=p;
        } //for
    } //for
} //for
mode=node+rest_param; ct_fixed_flag=ct_fixed[rmode];
for (i=1; i<=mode; i++) {
    for (j=+1; j<=mode; j++) {
        x[i][j]=0; x[j][i]=0;
        if (ct[i][j]+fixed_cost[i][j]<ct_fixed_flag) {
            x[i][j]=1; x[j][i]=1;
        } //if
    } //for
} //for
warshall(distance);
object=calc_object(distance); upper_bound=object_update 0;
if (object>obj) {
    minoux.mod 0; dijk(distance);
    object=calc_object(distance); upper_bound=object_update 0;
} //if
current_object=object;
} // rest_backward
} //*****
void rest_forward(void) {
    int distance[n_num][n_num], xin[n_num][n_num];
    int i, j, rmode;
    float ct_fixed[link_num], p, ct_fixed_flag;
    link=0;
    for (i=1; i<=mode; i++) {
        link=link+1; ct_fixed[link]=ct[link]+fixed_cost[link];
    } //for
} //for

```

```

for (i=1; i<=link-1; i++) {
    for (j=+1; j<=link; j++) {
        if (ct_fixed[i]>ct_fixed[j]) {
            p=ct_fixed[j]; ct_fixed[i]=ct_fixed[j]; ct_fixed[j]=p;
        } //for
    } //for
} //for
rmode=node+rest_param; ct_fixed_flag=ct_fixed[rmode];
for (i=1; i<=mode; i++) {
    for (j=+1; j<=mode; j++) {
        xin[i][j]=0; xin[j][i]=0;
        if (fixed_cost[i][j]<inf) {
            if (ct[i][j]+fixed_cost[i][j]<ct_fixed_flag) {
                xin[i][j]=1; xin[j][i]=1;
            } //if
        } //for
    } //for
} //for
m_forw_mod(xin); dijk(distance);
object=calc_object(distance); upper_bound=object_update 0;
current_object=obj;
} // rest_forward
} //*****
void m_forw_mod(int x_10, int xin[n_num][n_num]) {
    int distance[n_num][n_num];
    int addobj_k(link_num), x_1(link_num), x_2(link_num);
    int point(link_num);
    c_point=0;
    warshall(distance);
    object=calc_object(distance); upper_bound=object_update 0;
    if (object>obj) {
        m_forw_init_1(x_1, x_2, addobj_k, xin); minoux_init_2(0, int);
        if (link>0) {
            m_forw_main(x_1, x_2, point, addobj_k);
            object=calc_object(distance); upper_bound=object_update 0;
        } //if
    } //for
} // m_forw_mod
} //*****
void m_forw_init_1(int x_10, int x_10, int addobj_k0, int

```

```

xin[n_num][n_num] {
    int i, j, l;
    calc_flow0;
    addobj_k[0]=inf; link=0;
    for (i=1; i<=mode; i++) {
        for (j=+1; j<=mode; j++) {
            if (x[i][j]=0&&fixed_cost[i][j]<inf) {
                if (x[i][j]=1) {
                    link=link+1; length_j=calc_length(i, j);
                    min_flow=calc_min_flow(i, j); x_1(link)=x_2(link)=j;
                    addobj_k[link]=min_flow+flow_cost[i][j]+fixed_cost[i][j]
                    -min_flow*length_j;
                } //if
            } //if
        } //for
    } //for
    for (i=1; i<=link-1; i++) {
        for (j=+1; j<=link; j++) {
            if (addobj_k[i]>addobj_k[j]) {
                i=addobj_k[i]; addobj_k[i]=addobj_k[j]; addobj_k[j]=i;
            } //if
        } //for
    } //for
} //for
} // m_forw_init_1
} //*****
void m_forw_main(int x_10, int x_10, int point0, int
    addobj_k0) {
    int distance[n_num][n_num], distance2[n_num][n_num];
    int add_link, next_point, i, j;
    float add_object;
    dijk(distance);
    object=calc_object(distance); upper_bound=object_update 0;
    short_init(distance, distance2);
    current_object=obj;
    do {
        add_link=point[0]; i=x_1[add_link]; j=x_2[add_link];
        x[i][j]=1; x[j][i]=1;
        short_init(distance, distance2); short_add(i, j, distance2);
    }

```



```

// connect
//*****
void merge_node(int adj_node2[], int i, int j, int use_node[]) {
    int k, l, m;
    for (k=1; k<=nnode-k++; )
        use_node[k]=0;
    //for
    k=0; l=i; m=j;
    do {
        if (fixed_cost[i][adj_node[i]]<fixed_cost[j][adj_node[j]]
            [m]) {
            if (use_node[adj_node[i]]==0) {
                k=k+1; adj_node_2[k]=adj_node[i];
                use_node[adj_node[i]]|=1;
            } //if
            l=l+1;
        } else {
            if (use_node[adj_node[j]] [m]==0) {
                k=k+1; adj_node_2[k]=adj_node[j] [m];
                use_node[adj_node[j] [m]]|=1;
            } //if
            m=m+1;
        } //if
    } while (k != n_adj_node);
    // merge_node
    //*****
void connect_node(int n1[], int n2[], int use_node[], int distance3[] [n_num]) {
    int j;
    n1_num=0; n2_num=0;
    if (use_node[1]==1) {
        n1_num=n1_num+1; n1[n1_num]=use_node[1];
    } //if
    for (j=2; j<=nnode; j++) {
        if (use_node[j]==1) {
            if (distance3[1][j]<inf) {
                n1_num=n1_num+1; n1[n1_num]=j;
            } else {
                n2_num=n2_num+1; n2[n2_num]=j;
            } //if
        }
    }
}
    
```

```

//for
//for
while (current_object<current_upper_bound) {
    dijk(d1stance);
    upper_bound=object_update0;
    // adjacent_local_main
    //*****
void adjacent_node(void) {
    int x_j[link_num], x_length[link_num];
    int i, j, h, l;
    for (i=1; i<=nnode; i++) {
        for (j=1; j<=nnode; j++) {
            x_j[j]=j; x_length[j]=fixed_cost[i][j];
        } //for
        for (h=1; h<=nnode-1; h++) {
            for (j=h+1; j<=nnode; j++) {
                if (x_length[h]>x_length[j]) {
                    l=x_length[h]; x_length[h]=x_length[j]; x_length[j]=l;
                }
                l=x_j[h]; x_j[h]=x_j[j]; x_j[j]=l;
            } //if
        } //for
        for (j=1; j<=nnode; j++) {
            adj_node[i][j]=x_j[j];
        } //for
    } //for
    // adjacent_node
    //*****
int connect(int distance2[] [n_num]) {
    int i, j, graph_connect;
    graph_connect=1;
    for (i=1; i<=nnode; i++) {
        for (j=i+1; j<=nnode; j++) {
            if (distance2[i][j]>=inf) {
                graph_connect=0;
            } //if
        }
        return(graph_connect);
    } //for
    //for
    return(graph_connect);
}
    
```

```

x[k][l]=1; x[l][k]=1;
short_init(distance3, distance2);
short_add(k, l, distance2);
object=calc_object(distance2);
if (object<current_object) {
    dijk(d1stance);
    current_object=object; upper_bound=object_update0;
    continue;
} //if
x[k][l]=0; x[l][k]=0;
//if
//if
//for
//for
} else {
    connect_node(n1, n2, use_node, distance3);
    for (k=1; k<=n1_num; k++) {
        k=n1[k];
        for (l=1; l<=n2_num; l++) {
            l=n2[l];
            if (fixed_cost[k][l]=inf&&x[k][l]==0) {
                if (x_flag[k][l]==0) {
                    x[k][l]=1;
                    short_init(distance3, distance2);
                    short_add(k, l, distance2);
                    object=calc_object(distance2);
                    if (object<current_object) {
                        dijk(d1stance);
                        current_object=object; upper_bound=object_update0;
                        continue;
                    } //if
                }
                x[k][l]=0;
                x[l][k]=0;
            } //if
            //if
            //for
            //for
            x[l][j]=1; x[j][l]=1; x_flag[l][j]=0; x_flag[j][l]=0;
        } //if
    }
}
    
```

```

) //if
) //for
) // connect_node
) //*****
) //*****

```

図3. param.dat

```

//問題の分類
100605
//子サイン費用比率
10
//アーク基準の上限
05
//品種基準の上限
05

```

図4. und.dat

```

//問題数
1
//ノード数
10
//フロー費用
0 745 738 261 519 395 230 450 286 565
745 0 181 629 331 841 921 357 579 213
738 181 0 685 237 915 941 443 639 178
519 331 237 523 0 760 735 356 486 125
395 841 915 237 760 0 282 484 278 742
230 921 941 317 735 282 0 584 365 764
450 357 443 276 356 464 584 0 226 287
286 579 639 50 486 278 365 226 0 465
565 213 178 509 125 742 764 287 465 0
//アーク基準
0 4 4 1 3 3 1 3 2 3
4 0 1 4 2 5 5 2 4 1
4 1 0 4 1 5 5 3 4 1
1 4 0 3 1 2 2 1 3
3 2 1 3 0 4 4 2 3 1
3 5 5 1 4 0 2 3 2 4
1 5 5 2 4 2 0 4 2 5
3 2 3 2 2 3 4 0 1 1
2 4 4 1 3 2 2 1 0 3

```

```

3 1 1 3 1 4 5 1 3 0
//品種基準
0 2 1 3 8 6 4 7 2 6
3 0 2 2 5 1 5 9 4 7
3 1 0 6 5 9 9 4 6 2
4 3 3 0 5 7 1 9 4 6
7 8 7 7 0 7 5 1 2 8
4 2 1 8 6 0 6 4 3 5
2 1 8 7 9 9 0 4 8 8
3 6 3 8 8 7 1 0 9 8
7 9 3 4 9 5 1 9 0 4
5 2 2 1 6 3 6 5 5 0
//x, y座標
764 357
106 707
48 536
728 616
248 408
947 707
983 427
463 632
680 630
226 531

```